瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく　主体的に学ぶ生徒の育成】

令和4年6月15日（水）NO．10　　文責：校長　柏原　哲郎
HP アドレス　https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

熱く燃えた、中総体！！

先日の6／11（土）・12（日）に令和4年度雲仙市中総体（球技・武道）が開催され、各部の選手・部員が気持ちを一つにして、熱く燃えて臨みました。各部の結果と主将が中総体を振り返った感想、気持ち、思いを伝えます。

【女子バレーボール部】

1日目　予選リーグ戦　　瑞穂中0−2国見中　瑞穂中2−0千々石中　⇒決勝トーナメント進出
2日目　決勝トーナメント　瑞穂中0−2吾妻中　　**第3位**

今回の中総体では全員でしっかり戦うことができました。優勝には届きませんでしたが、自分たちなりに、練習の成果を発揮することができました。1日目の国見戦では自分たちのプレーができましたが、国見中のペースにのまれ、悔しくも勝利とはなりませんでした。2回戦の千々石戦では、ベンチメンバーを出せるように、余裕を持ちながら勝つことができました。
2日目の吾妻戦では、1セット目は自分たちの思うようなプレーができず、流れが吾妻にのまれて自分たちの雰囲気がつくれませんでした。2セット目は自分たちの流れがつくれ、リードする展開が続きました。しかし、やっぱり吾妻は強かったです。来年は県大会に行くようなので、引き続き応援よろしくお願いします。

主将　森川　琉実花さん

【男子バスケットボール部】

トーナメント戦　瑞穂中54−63国見中

今回の中総体で国見中に負けたことは悔しかったですが、中総体では、自分たちの持っているものを全て出し切ることができたと思います。また、気持ちでは絶対に負けていなかったと思います。中総体で負けた悔しさを1、2年生に託して、強い男子バスケット部をつくってほしいです。

主将　塩塚　奏くん

【サッカー部】

決勝リーグ戦　瑞穂中0−3国見中　　瑞穂中7−0吾妻中

惜しくも優勝できなかったが、全員が全力を出したと思います。まだ、（3年生も）試合があるので、その一戦一戦を大事にしていきたいと思います。そして最後、良い形で終われるように頑張っていきたいです。

主将　小笹　朋史くん

【男子ソフトテニス部】

1日目　団体戦　瑞穂中1－2吾妻中　瑞穂中0－3国見中　瑞穂中3－0千々石中　**準優勝**

2日目　個人戦　西園健人・金田健太朗ペア　4－2　吾妻中ペア

団体戦では、最初の2試合ではあまり調子が良くなく、動けていませんでしたが、3試合目では、動けてきて3回とも勝ち、2位という結果だったので良かったです。個人戦では、ほとんどが1回戦で負けて悔しかったです。しかし、1、2年生には良い経験になり、自分たちは今後の人生に生かせるような良い経験になりました。

主将　岩谷　洋祐くん

【女子ソフトテニス部】

1日目　団体戦　瑞穂中3－0吾妻中　瑞穂中0－3国見中　瑞穂中2－1千々石中　**準優勝**

2日目　個人戦　園田沙紀・雪屋晴香ペア　4－0　吾妻中ペア

吉田有梨亜・吉弘蒼空ペア　4－2　千々石ペア

東みらい・橋本あみペア　4－0　千々石ペア

私たち3年生にとって最後の中総体で、「最後」という言葉を考えるだけで、とてもさみしい気持ちになりました。結果は準優勝だったけど、自分たちの思うプレーができて悔いはありません。笑顔で終わることができて良かったです。でも、「打倒国見」という目標を達成することができなかったので、来年こそは優勝できるように頑張ってほしいです。

主将　橋本　沙さん

女子バレーボール部の試合では対吾妻中戦の2セット目がとても良いゲームだったと聞きました。競り勝つことがこれからの課題でしょうか。後輩がきっと頑張ってくれることでしょう。

男子バスケット部も最初は波に乗れなかったようですが、その後はものすごい勢い、頑張りで追い上げたと聞きました。悔しさを託された1、2年生がきっと奮起してくれることでしょう。

サッカー部は国見戦での内容は点差ほど悪くなく、好プレーありの惜しい試合だったと聞きました。校長がソフトテニス競技担当だったので、ソフトテニス競技終了後に吾妻戦の残り15分ほどは観戦することができました。本校が押し気味とわかりましたが、点差にびっくりしました。

男女ソフトテニス部は、1日目は雨のために2時間待ってのゲーム開始でした。非常に厳しい状況の中でしたが、男女共に良く頑張りました。時折見せるガッツポーズと笑顔がとてもさわやかでした。男女ともに団体戦で「準優勝」という素晴らしい結果も残しました。2日目の個人戦は、それぞれのペアが思うような結果を残せなかったかもしれませんが、一生懸命にボールを追う姿は素晴らしかったと思います。

コロナ禍での3度目の中総体になりましたが、何とか無事に終わりホッとしています。各部の顧問、外部指導者の方々、そして保護者の皆様のこれまでの指導・支援に大変感謝しています。感染防止の対応も大変ありがとうございました。

以前から生徒には「行事はみなさんを鍛え、成長させるためにある。」と話しています。特に、中総体に参加した生徒は、めざす生徒像のキーワードである「気合いと愛と夢」を少なからず感じ取ってくれただろうと思っています。それが成長であり、今後の学校生活に少しずつ現れてくるものと期待しているところです。特に3年生にとっては今年の中総体こそがこれまでの集大成という思いが強かったはずです。しっかりと区切りをつけ、次のステップを踏み出して欲しいと願っています。1、2 年生は3年生のこれまでとこれからの姿をしっかりと見ています。きっと後を引き継いでくれることでしょう。